

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンと大阪府の公民連携プロジェクトに大学生が参画  
「行けない」を「行ける」に変える！医療的ケア児の“楽しみ”を広げる挑戦

医療的ケアが必要な子どもたちは、「行きたい場所に自由に行くこと」や「テーマパークを楽しむこと」が、今なお簡単ではありません。

そんな“楽しみの格差”という社会課題に、大学生たちが真正面から向き合います。

大阪府とユニバーサル・スタジオ・ジャパンは、一緒に地元大阪を“超元気”にしたいという思いから、包括連携協定(2020年11月24日(火)締結)に基づく共同施策の一環として、公民連携プロジェクトを進めることとなりました。大阪人間科学大学と摂南大学は、このプロジェクトに協力し、医療的ケア児等が安心してアミューズメント施設を楽しめる社会を目指した課題解決型学習(PBL)を実施しています。

今回、学生たちは、日常的に医療的ケア児等の生活支援を行う株式会社わらみを訪問。

当事者や支援スタッフへのインタビューを通じて、「外出すること」の裏側にある現実や、支援現場の課題を学びます。

“誰もが楽しみをあきらめなくていい社会”へ――。

学生たちが現場で感じ、考え、未来への提案につなげていく取り組みです。



## ■ 今回の実施内容

### 【5/9(土) 医療的ケア事業所への学生インタビュー】

場所： 株式会社わらみ(所在地:大阪府大東市野崎 1丁目 9番 5号、電話番号:072-800-8556)

時間： 10時30分から12時00分

集合場所： JR野崎駅 改札口前 (JR学研都市線) ※学生集合時間 10時20分

参加者： 大阪人間科学大学 学生、摂南大学 学生



## ■ 医療的ケア児とは

心身に障害があり、日常生活を送るために24時間365日、医療的なケア(人工呼吸器管理、栄養補給など)を受けることが不可欠な18歳未満の児童の方々です。

- 口、鼻、気管から行う喀痰吸引  
自力で痰を出せない人の口・鼻・気管から吸引機を用いて痰を除去し、呼吸困難や窒息、肺炎を防ぐ  
医療的ケア
- 鼻、胃、腸から直接食事をする経管栄養  
口から食事が取れない場合にチューブを用いて胃や腸へ直接栄養剤を送り込む方法
- 排泄のための導尿や浣腸
- 口鼻、気管から行う吸入
- 人工呼吸器の着脱や発作時の対応

## ■ プロジェクト全体のスケジュール(予定)

4/8(水)	4/15(水)	4/22(水)	5/9(土)	5/13(水)	5/20(水)	5/26(火)
授業 (医療的ケア児等の抱えている現状や課題等について学びます)			協力事業所 利用者への インタビュー	授業 (同左)		学生によるユニバーサル・スタジオ・ジャパンでの現地調査
6/3(水)	6/10(水)	6/17(水)	6/24(水)	6/30(火)	7/11(土)	
授業 (課題の解決方策について、実践可能な計画の立案を進めます)					ユニバーサル・スタジオ・ジャパンでの実地体験 (協力事業所利用者)	

※ 太字については、両大学が共同して実施します。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

大阪人間科学大学 大学事務局(担当:キャリアセンター課 菅原)

M a i l : d-sugahara@kun.ohs.ac.jp

T e l : 06-6381-3456